

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 ブルドックソース株式会社

コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 章子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 佐藤 貢一

TEL 03-3668-6811

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	12,770	0.1	881	73.3	941	65.0	558	
21年3月期第3四半期	12,757		508		570		25	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	8.08	
21年3月期第3四半期	0.37	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	20,063	14,133	70.4	204.19
21年3月期	19,519	13,845	70.9	200.03

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 14,133百万円 21年3月期 13,845百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		3.00		3.25	6.25
22年3月期		1.50			
22年3月期 (予想)				2.00	3.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	0.6	1,000	46.2	1,040	44.9	600		8.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	69,774,401株	21年3月期	69,774,401株
-------------------	-------------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数	22年3月期第3四半期	558,993株	21年3月期	557,642株
---------	-------------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	69,216,101株	21年3月期第3四半期	69,451,983株
--------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。  
業績予想に関する項目については、添付資料の4ページを参照してください。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気下支え策による経済効果や海外の景気回復基調により一部に回復の兆しが見えたものの、生産や販売の水準は本格回復には遠く、企業業績は低迷したまま引き続き厳しい状況で推移しました。

食品業界におきましても、景気の先行き不安や厳しい雇用環境や所得環境で消費者の節約志向は一層高まり、デフレ傾向は深刻化し、企業間の販売競争は激しさを増すなど厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、お客様に支持される『安全・安心・信頼』の商品づくりに最優先に取り組んでまいりました。8月に食品添加物を加えていない商品「ブルドック スーパープレミアムソース 極 200ml」などの新商品を発売し、11月には当社の主力商品である300 ml、500 mlの家庭用商品など「ブルドック ウスターソース」「ブルドック 中濃ソース」「ブルドック とんかつソース」をリニューアルしました。このリニューアルにより野菜・果実を当社従来品比10%増量し、おいしさの向上を図り、商品ラベルの見やすさなど商品の改善を行い、『自然でシンプル』な品質をさらに進化させ、より安全・安心で使いやすい商品を訴求し、需要の拡大に努めてまいりました。

また、食品流通店舗様の店頭での試食実演による販売促進活動の継続的な展開や、親子料理教室など食育活動を東京、大阪、仙台の各都市で開催するなど、ソースの用途拡大や需要喚起を行い販売の増大を図ってまいりました。

イカリソース(株)は、地域に密着した機動的な販売活動を展開し、売上は堅調に推移しました。

中国事業につきましては、現地法人富留得客(北京)商貿有限公司が中国市場に即したマーケティング活動とソースの理解・普及活動を展開してまいりました。

以上のように当社グループは、積極的な販売活動を展開する一方、事業全般にわたる徹底した合理化を推進し、生産性の向上に取り組み、競争力のある企業グループをめざしてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、対前年同期比1千3百万円増の127億7千万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は、対前年同期比3億7千2百万円増の8億8千1百万円(前年同期比73.3%増)、経常利益は、対前年同期比3億7千万円増の9億4千1百万円(前年同期比65.0%増)、四半期純利益は、対前年同期比5億3千3百万円増の5億5千8百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億4千3百万円増加し、200億6千3百万円となりました。増減の主なものは、流動資産では、受取手形及び売掛金が4億8千5百万円増加し、固定資産では、機械装置及び運搬具が1億1千4百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億5千5百万円増加し、59億3千万円となりました。増減の主なものは、流動負債では、支払手形及び買掛金が1億3千万円、未払法人税等が2億9千万円増加し、固定負債では、長期借入金が2億円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億8千7百万円増加し、141億3千3百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。これにより自己資本比率は、70.4%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、14億8百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、8億8千1百万円の収入(前年同期は、4億7百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益8億7千万円及び減価償却費3億5千5百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億6千2百万円の支出(前年同期は、4億2千3百万円の支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出2億6千6百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億1千2百万円の支出(前年同期は、8億5千7百万円の支出)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出2億円及び配当金の支払額3億1千1百万円などによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ平成21年4月30日に公表いたしました平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日~平成22年3月31日)を修正しております。

当該予想数値の修正に関する事項は、平成22年1月29日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等の算定方法

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,408	1,401
受取手形及び売掛金	4,767	4,282
商品及び製品	334	372
原材料及び貯蔵品	104	126
仕掛品	21	19
繰延税金資産	274	274
その他	105	62
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	7,014	6,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,332	2,438
機械装置及び運搬具(純額)	1,021	906
土地	2,711	2,710
建設仮勘定	-	18
その他(純額)	103	78
有形固定資産合計	6,169	6,152
無形固定資産	93	105
投資その他の資産		
投資有価証券	5,499	5,451
繰延税金資産	891	932
その他	438	422
貸倒引当金	44	83
投資その他の資産合計	6,785	6,723
固定資産合計	13,048	12,981
資産合計	20,063	19,519

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,801	1,670
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払金	204	82
未払費用	900	973
未払法人税等	311	20
賞与引当金	107	208
その他	106	55
流動負債合計	3,631	3,210
固定負債		
長期借入金	1,400	1,600
退職給付引当金	707	675
長期未払金	173	173
その他	17	14
固定負債合計	2,298	2,463
負債合計	5,930	5,674
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	10,885	10,655
自己株式	393	393
株主資本合計	14,101	13,871
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31	26
評価・換算差額等合計	31	26
純資産合計	14,133	13,845
負債純資産合計	20,063	19,519

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	12,757	12,770
売上原価	6,431	6,146
売上総利益	6,325	6,624
販売費及び一般管理費	5,817	5,743
営業利益	508	881
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	100	101
その他	15	11
営業外収益合計	116	113
営業外費用		
支払利息	30	27
減価償却費	21	20
その他	2	5
営業外費用合計	54	53
経常利益	570	941
特別利益		
過年度損益修正益	0	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除却損	23	7
投資有価証券評価損	424	61
退職特別加算金	44	-
保険解約損	14	-
減損損失	-	1
その他	13	7
特別損失合計	521	77
税金等調整前四半期純利益	49	870
法人税、住民税及び事業税	24	311
法人税等合計	24	311
四半期純利益	25	558

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	49	870
減価償却費	375	355
減損損失	-	1
貸倒引当金の増減額(は減少)	1	5
賞与引当金の増減額(は減少)	108	101
退職給付引当金の増減額(は減少)	56	31
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	372	-
受取利息及び受取配当金	101	102
支払利息	30	27
固定資産除売却損益(は益)	23	7
投資有価証券評価損益(は益)	424	61
売上債権の増減額(は増加)	176	485
たな卸資産の増減額(は増加)	62	57
仕入債務の増減額(は減少)	134	130
未払金の増減額(は減少)	2	6
未払費用の増減額(は減少)	269	63
長期未払金の増減額(は減少)	173	-
その他	77	29
小計	360	832
利息及び配当金の受取額	101	102
利息の支払額	41	36
法人税等の支払額	22	28
法人税等の還付額	9	10
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>407</b>	<b>881</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	267	266
投資有価証券の取得による支出	289	40
投資有価証券の売却による収入	1	1
保険積立金の解約による収入	131	-
関係会社出資金の払込による支出	-	50
その他	0	6
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>423</b>	<b>362</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	250	-
長期借入金の返済による支出	200	200
自己株式の取得による支出	0	0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	406	311
その他	-	0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>857</b>	<b>512</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	872	6
現金及び現金同等物の期首残高	1,751	1,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	878	1,408

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるソース類製造販売事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高がないため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高は、軽微であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。